

<p>国鉄改革完遂！      当たり前の労働運動を      前進させよう！      JR 東海労に      結集しよう！</p>	<p>J R      東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部      〒420-0851 静岡市葵区黒金町68番地      N T T 054-284-3608      発行責任者： 半場弘恭      2021年3月13日 No.21</p>
--	-------------------------	-----------	--

## ベットメイクは立派な労働だ！

コロナ感染対策で、社員の負担は増大するばかりである！コロナ感染対策で、2月1日から始まった社員による、休養室のベットメイクと片付けは泊り勤務者の睡眠時間を削減しています。従来の枕カバーと浴衣に加え、シーツの設置と取り外し、掛け布団カバーの着脱、それぞれの休養室への持ち込みと片付けです。

仕事をし終えて、休養しようとするときにドット疲れが出ます。シーツを敷く時に掛け布団の置場にも困り、埃も舞い散ります。あらかじめベットメイクがしてあれば、直ちに眠る体制に入り、翌朝の仕事に備え休養を取ることができます。「ベットメイクは面倒だ」というのが誰もの本心です。会社は、寝具整備を非労働時間だという。理由は、「休養室は使用でなく利用」だからと訳の分からぬ会社の一方的理論を押しつけています。

しかし、この間会社は東海整備に作業を委託していました。会社は、「毎日のシーツと掛け布団カバーの交換は、東海整備の人が足りないので社員がすることにした」と言っていますが、他方では、「JRから契約を切ってきた」という噂も聞いています。会社と委託会社のうまくいかない関係をどうして社員に転嫁するのでしょうか。泊り勤務者の貴重な休養時間を削ることになっています。この間、**ベットメイクと片付けは立派な労働として、東海整備に作業代として委託代を払っていました。ですから、社員が行なうことは、従来の作業ダイヤに加算された労働時間となるはずで**す。ベットメイクと片付けという労働が、東海整備から社員に移った瞬間消えてしまったのです。労働組合と団体交渉をすることなく労働時間とするべき労働を会社が無きものにしたのです。**JR東海ユニオンは「毎日のシーツ交換は成果だ」と大喜びをしています**が、会社に簡単にごまかされてしまったのです。

**家事は労働ではないと言っているようなものです。**

**ベットメイクと片付けは東海整備に委託すべきだ！**

**委託金をケチらなければ東海整備で請けられるはずだ！**

**全てはリニア建設のしわ寄せだ！**